

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明会



## 株式会社エスライン

【東証スタンダード・名証プレミア 9078】



2022年11月24日(木)

# 2023年3月期 第2四半期 決算概要

- 業績  
営業収益は減収  
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する  
四半期純利益共に減益
- 投資実績  
株式会社クリエイトの株式取得（9月）  
…東北地区におけるホームサービス事業の拡大
- 人材の強化  
階層別社員研修の実施  
資格取得の促進
- その他  
制服のリニューアル

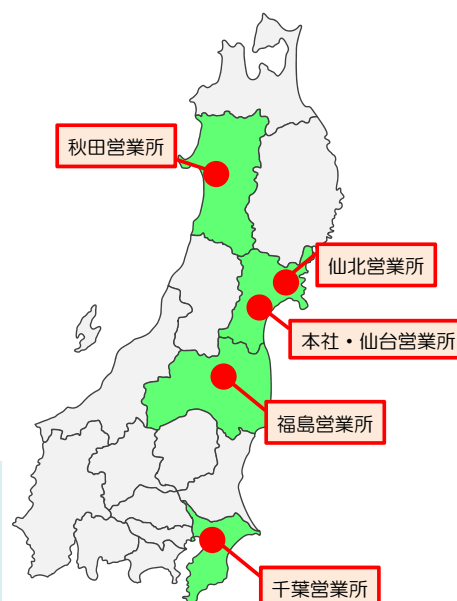


外部講師による管理職研修



制服のリニューアル

## 株式会社クリエイトの株式取得



● 拠点位置

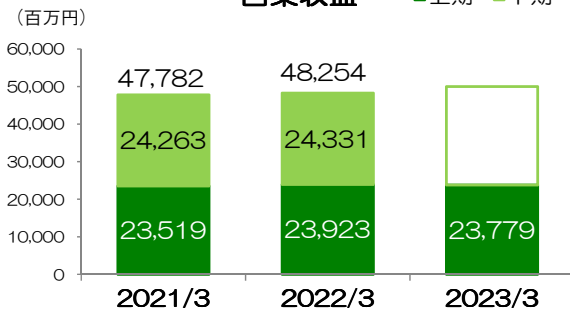
### 会社概要

- 社名 : 株式会社クリエイト
- 本社所在地 : 宮城県仙台市宮城野区日の出町三丁目5番2号
- 営業所 : 宮城県仙台市・宮城県登米市・福島県郡山市  
秋田県秋田市・千葉県船橋市
- 事業内容 : 一般貨物自動車運送事業／電気工事業／家電製品設置業
- 社員数 : 78名（2022年8月時点）

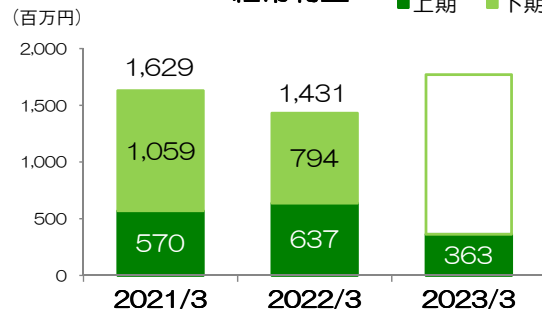
(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2四半期			通期	
					当初予想 (2022年9月22日)	実績	前期比		予想比
営業収益	23,519	47,782	23,923	48,254	25,000	23,779	▲0.6%	▲4.9%	50,000
営業総利益	1,307	3,145	1,445	3,059	1,581	1,273	▲11.9%	▲19.2%	3,527
(営業総利益率)	(5.6%)	(6.6%)	(6.0%)	(6.3%)	(6.3%)	(5.4%)	—	—	(7.1%)
販売費及び一般管理費	809	1,641	879	1,744	903	979	11.4%	8.5%	1,807
営業利益	497	1,503	565	1,314	678	293	▲48.0%	▲56.6%	1,720
(営業利益率)	(2.1%)	(3.1%)	(2.4%)	(2.7%)	(2.7%)	(1.2%)	—	—	(3.4%)
経常利益	570	1,629	637	1,431	724	363	▲42.9%	▲49.8%	1,770
(経常利益率)	(2.4%)	(3.4%)	(2.7%)	(3.0%)	(2.9%)	(1.5%)	—	—	(3.5%)
親会社株主に 帰属する純利益	384	971	436	966	474	231	▲46.9%	▲51.1%	1,710

営業収益 ■ 上期 ■ 下期



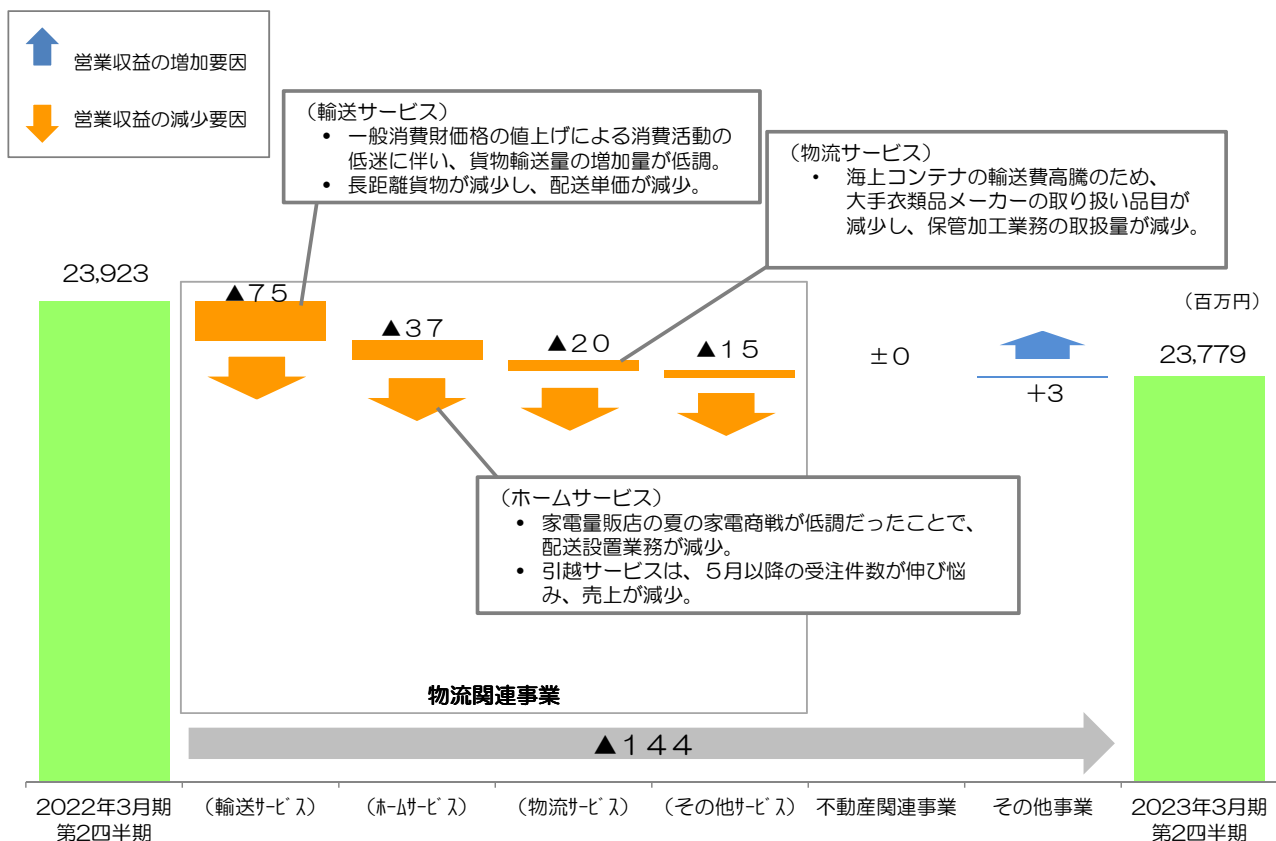
経常利益 ■ 上期 ■ 下期



Copyright 2022 ㈱エスライン

4

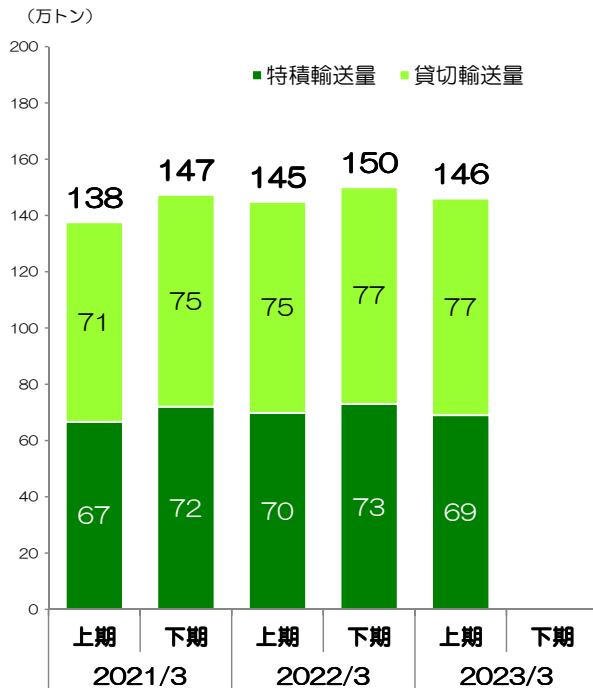
## 営業収益の増減要因 (連結)



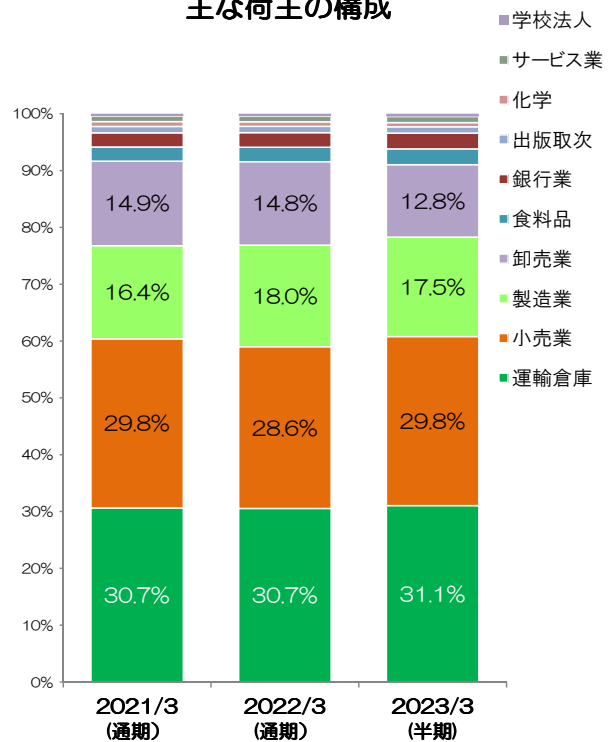
Copyright 2022 ㈱エスライン

5

### 貨物輸送量の推移 (特積/貸切)

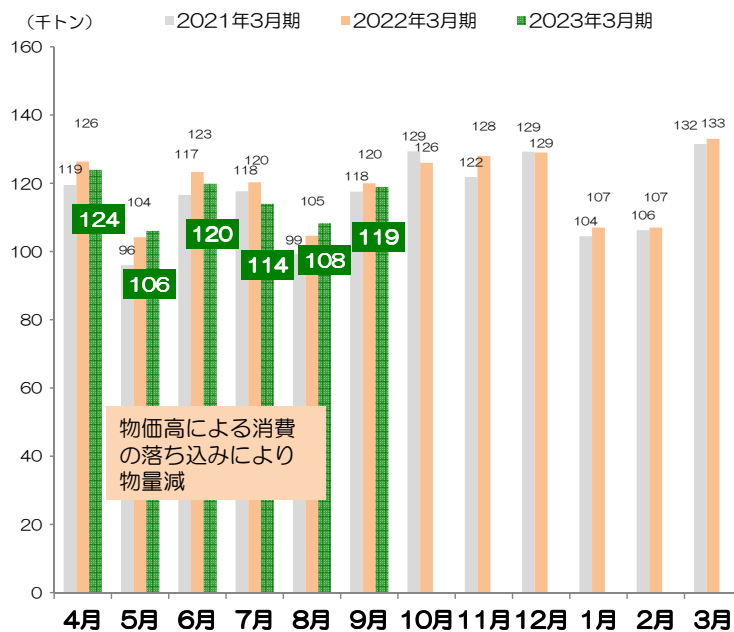


### 主な荷主の構成

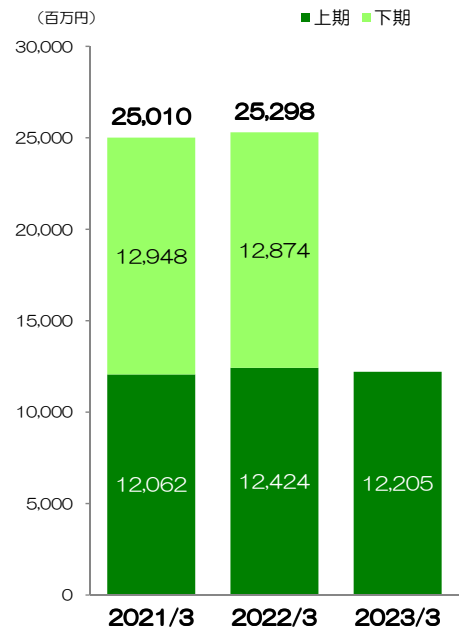


## 特積の状況 (1)

### 月別特積貨物輸送量



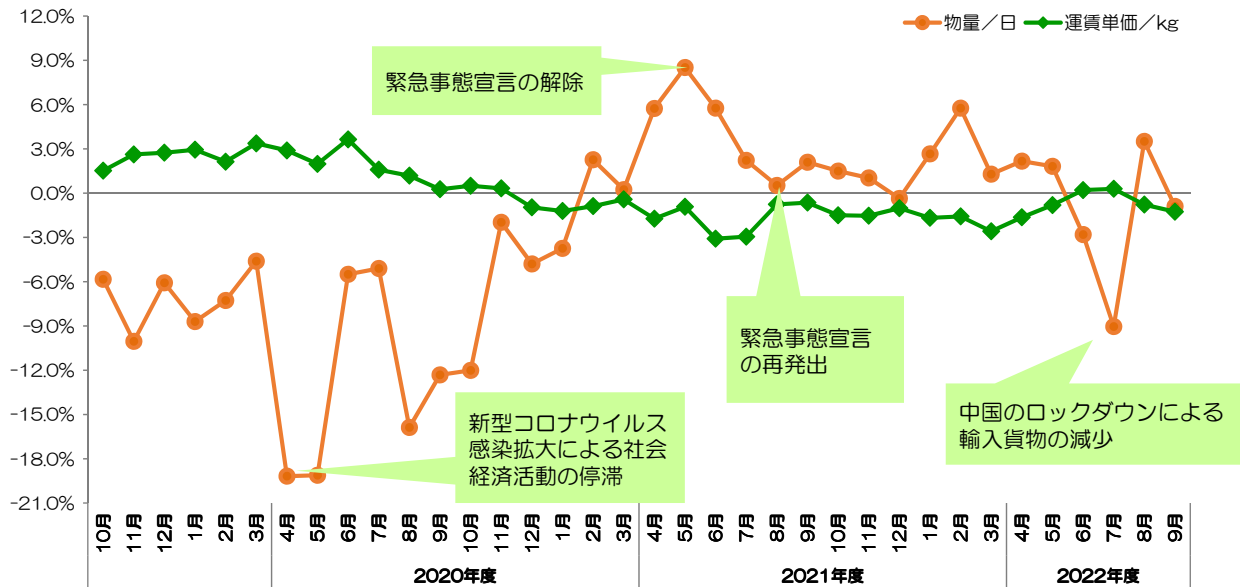
### 特積収入



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日数
2021/3	25	22	26	24	21	24	27	23	24	22	22	26	
2022/3	25	22	26	24	22	24	26	24	24	22	21	26	
2023/3	24	22	26	25	22	24	25	24	24	22	22	26	

2022年3月期上期：143日 2023年3月期上期：143日 (前期比±0日)

### 月別特積物量・運賃単価前年比増減率

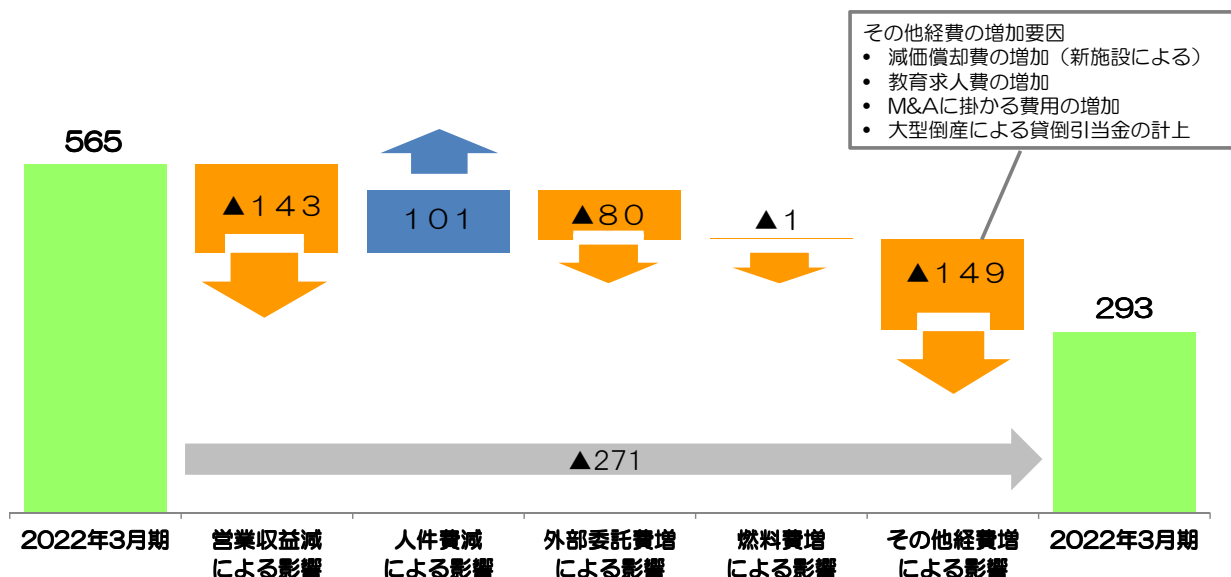


前年比増減率	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期上期
物量/日	▲8.3%	2.9%	▲1.1%
運賃単価/kg	0.7%	▲1.7%	▲0.7%

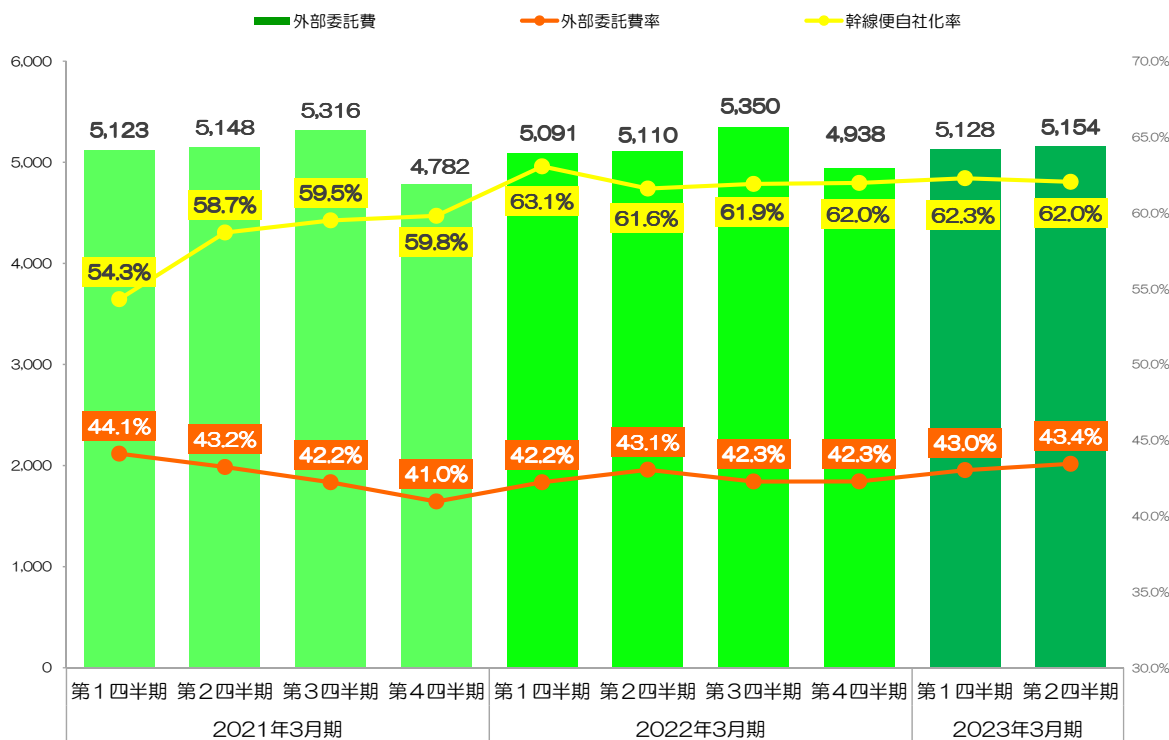
# 営業利益の増減要因（連結）

営業利益の増加要因  
 営業利益の減少要因

(百万円)



## 外部委託費、外部委託費率、幹線便自社化率 (2021年3月期～2023年3月期第2四半期)

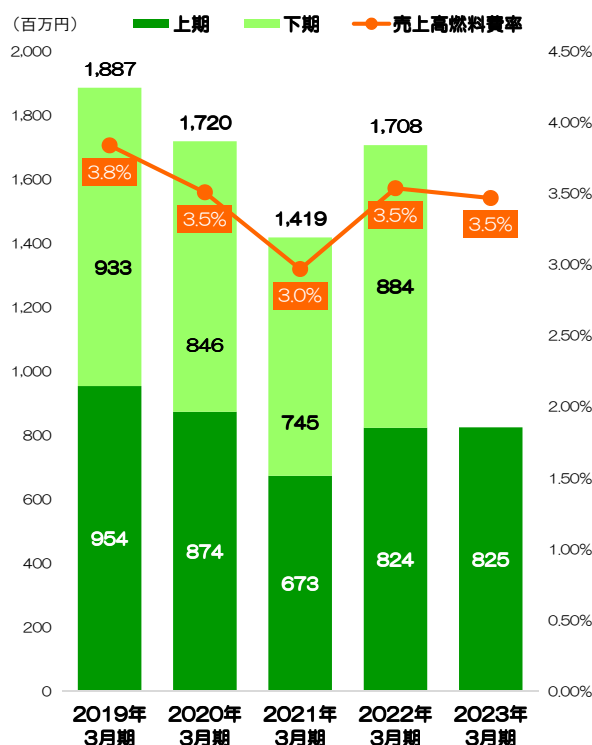


## 営業費用（人件費／外部委託費）の推移

### 労務費・人件費



### 燃料費





# セグメントの状況：営業収益

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2四半期			通期	
					当初予想 (2022年5月22日)	実績	(前期比)		(予想比)
営業収益	23,519	47,782	23,923	48,254	25,000	23,779	▲0.6%	▲4.9%	50,000
物流関連事業	23,138	47,024	23,538	47,489	24,591	23,391	▲0.6%	▲4.9%	49,219
輸送サービス	17,954	37,272	18,522	37,787	19,257	18,447	▲0.4%	▲4.2%	38,083
ホームサービス	3,105	5,340	2,730	5,180	2,878	2,693	▲1.4%	▲6.4%	5,476
物流サービス	1,994	4,245	2,202	4,368	2,366	2,182	▲0.9%	▲7.8%	5,317
その他サービス	84	168	84	154	90	69	▲17.9%	▲23.3%	343
不動産関連事業	225	449	224	449	233	224	0.0%	▲3.9%	450
その他事業	156	308	161	317	176	163	1.6%	▲7.4%	330

# セグメントの状況：営業利益

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2四半期			通期	
					当初予想 (2022年5月22日)	実績	(前期比)		(予想比)
営業利益	497	1,503	565	1,314	678	293	▲48.0%	▲56.6%	1,720
セグメント利益	789	2,101	874	1,945	973	626	▲28.3%	▲35.6%	2,340
物流関連事業	627	1,790	715	1,641	813	467	▲34.6%	▲42.6%	2,032
輸送サービス	169	1,097	422	1,117	439	342	▲18.9%	▲22.1%	1,191
ホームサービス	288	363	178	324	208	49	▲72.4%	▲76.4%	364
物流サービス	163	316	107	189	157	70	▲34.6%	▲55.4%	461
その他サービス	7	13	8	11	8	6	▲25.0%	▲25.0%	15
不動産関連事業	115	234	120	241	119	128	7.2%	7.6%	225
その他事業	46	76	39	62	42	30	▲21.5%	▲28.6%	83
調整額（本社経費）	▲291	▲597	▲309	▲630	▲295	▲332	▲7.4%	▲12.5%	▲620

## 連結貸借対照表の概要

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	期末増減
流動資産	11,556	10,580	9,099	10,554	<b>9,677</b>	▲877
固定資産	28,511	30,227	30,038	31,088	<b>31,092</b>	3
資産の部合計	40,068	40,808	39,137	41,643	<b>40,769</b>	▲873
流動負債	8,910	9,559	7,503	8,466	<b>7,994</b>	▲471
固定負債	6,921	6,327	6,496	7,516	<b>7,151</b>	▲364
負債の部合計	15,832	15,886	14,000	15,982	<b>15,146</b>	▲836
株主資本	23,794	24,292	24,522	24,964	<b>25,042</b>	78
非支配持分	0	0	0	0	<b>0</b>	0
純資産の部合計	24,236	24,922	25,137	25,660	<b>25,623</b>	▲37
負債及び純資産合計	40,068	40,808	39,137	41,643	<b>40,769</b>	▲873
自己資本比率	60.5%	61.1%	64.2%	61.6%	<b>62.8%</b>	—

## 連結キャッシュ・フローの概要

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,182	<b>2,722</b>	1,307	2,729	<b>962</b>	▲345
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,955	<b>▲4,161</b>	▲1,557	▲3,628	<b>▲786</b>	770
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲859	<b>▲1,590</b>	▲611	788	<b>▲728</b>	▲116
現金及び現金同等物の増減	▲1,631	<b>▲3,030</b>	▲861	▲110	<b>▲552</b>	—
現金及び現金同等物の期首残高	6,965	<b>6,965</b>	3,934	3,934	<b>3,824</b>	▲110
現金及び現金同等物の期末残高	5,333	<b>3,934</b>	3,073	3,824	<b>3,271</b>	198



# 中期経営計画の進捗状況 及び 2023年3月期の業績予想

## 新 中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）

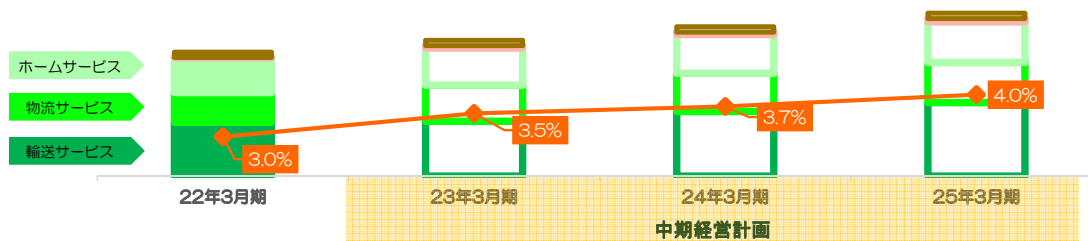
新中期経営計画のテーマ  
(2023年3月期～2025年3月期)

『ありがとう創造計画』

長期ビジョン  
(2023年3月期～2031年3月期)

商品を送る安心と、受け取る嬉しさ  
をつなぐ、ありがとう創造企業

流通ソリューション企業  
～物流から流通を目指す～



	【中期経営計画】								
	23年3月期			24年3月期			25年3月期		
	営業収益	営業利益	(利益率)	営業収益	営業利益	(利益率)	営業収益	営業利益	(利益率)
<b>事業分野合計</b>	<b>50,000</b>	<b>1,720</b>	<b>3.4%</b>	<b>52,000</b>	<b>1,880</b>	<b>3.6%</b>	<b>54,000</b>	<b>2,110</b>	<b>3.9%</b>
輸送サービス	38,083	997	2.6%	39,533	1,113	2.8%	40,846	1,290	3.2%
物流サービス	5,317	322	6.0%	5,621	345	6.1%	5,895	375	6.4%
ホームサービス	5,476	212	3.9%	5,706	231	4.1%	5,998	260	4.3%
流通・新規他	343	10	3.0%	350	11	3.0%	460	17	3.7%
不動産・その他・調整	780	180	—	790	180	—	800	168	—
経常利益		1,770	3.5%		1,930	3.7%		2,160	4.0%
設備投資額		1,987			2,783			2,450	
ROE			4.3%			4.6%			5.0%

## 規模の拡大

- ① **確固たる収益基盤の構築**
  - コロナ禍からの輸送需要回復を着実に取り込む
  - 新たな荷主開拓・荷主層の再編
- ② **特定の輸送・物流サービス（取扱商品、荷主層、地域、運送形態）を対象に、推進体制を重点的に強化**
  - <例> 協力業者ネットワーク強化による貸切事業拡大、輸出入貨物の取扱拡大
  - 関東地区における物流サービス事業の強化
  - 大型商品配送事業の首都圏・中部地区の深耕、中部地区での引越事業強化
  - 流通機能の提供による輸送・物流ニーズの取り込み など

## 質の向上

- ③ **次世代を見据えた最新技術の導入とオペレーションの洗練化**
  - 基幹システムリニューアルと併せた、輸送サービスにおけるDX推進
  - 倉庫の省人化・効率化への積極投資
- ④ **人材の質の更なるレベルアップのためのインフラ整備**
  - グループとしての研修・人材育成強化
  - 採用・人材育成に資する新規事業の立ち上げ（例：研修会社、保育所等）

## 推進体制・基盤強化

- ⑤ **グループとしての推進体制の再構築**
  - 当社が中心となってグループ各社を統括・牽引するために、持株会社機能を見直す
- ⑥ **業績管理の中核である事業セグメント別業績管理のテコ入れ**
  - 基準、システム、運用ルールの方から再構築を図り、正確な情報を提供できる姿の実現化

# 基本方針

既存事業	輸送サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特積事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍からの物量回復を確実に取り込む</li> <li>・ 採算性への意識改革</li> <li>・ DX取組を通じた収益性改善</li> </ul> </li> <li>・ 貸切事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更なる需要（輸出入貨物の取引等）掘り起こしを企図</li> </ul> </li> </ul>
	物流サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東エリアにおける倉庫拠点網の拡大</li> <li>・ 営業体制強化による収益力拡大</li> <li>・ 近年中部エリアに新設・大幅改修した倉庫拠点の稼働率向上</li> <li>・ 倉庫の省人化・効率化の積極的推進</li> <li>・ 倉庫オペレーションの更なる高度化・専門化の追求</li> </ul>
	ホームサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配送品質を向上させる事で、更なる収益拡大を図る</li> <li>※大型商品(家電)配送事業、引越事業は当社toC物流として位置付け</li> </ul>
流通分野 新規事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流通ソリューション企業としての足掛かりを作る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 流通機能（受発注、代金決済機能、需要予測）の拡充</li> <li>→ システム提供、運用支援、輸送・保管と組み合わせた流通機能の一貫提供</li> </ul> </li> <li>・ 本業の人材育成・採用強化に貢献し、過度な投資を必要としない事業を新規事業の有力候補と位置づけ、事業化を推進する</li> <li>・ EC物流本格化を見据えたECサイト構築の試行</li> <li>・ 地域配送サービスの研究・展開</li> </ul>
ESG		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な社会の実現、中長期的な企業価値の向上を目指して、環境・社会に配慮した事業運営</li> <li>・ グループ経営力を高めるためのガバナンス強化の推進</li> <li>・ 企業市民として、地域清掃や安全指導等の地域貢献活動</li> </ul>

## 規模の拡大

### ＜実施事項＞

- 株式会社クリエイトの株式取得  
…ホームサービス事業のエリア拡大
- エスライングループを横断したスワロー引越委員会の立ち上げ  
…グループ合同の営業会議開催による営業力の強化  
…グループ合同研修実施による引越し技術のスキルアップ
- 京浜港湾センターの立ち上げ準備（2023年2月稼動予定）  
…関東エリアにおける国際貨物の取り扱い強化



エスライングループ合同の引越研修

Copyright 2022 株式会社エスライン



京浜港湾センターのイメージ

## 質の向上

### ＜実施事項＞

- ドライバーの採用強化  
ドライバー採用人数：前期比32.8%増
- 職位階層別研修の実施  
外部講師による管理職研修、マナー研修の実施  
安全指導員によるドライバー研修の実施  
資格取得に向けた社内研修の実施  
(運行管理者合格者数：前期比11名増)
- 業務のDX化  
一部の拠点にて伝票の読み取りスキャナの導入し、入力作業を自動化  
貨物追跡サービスにおいて、委託先の配達状況まで取得可能



教育求人費：前期比29.5%増加



外部講師によるマナー研修

Copyright 2022 株式会社エスライン



伝票の読み取りスキャナ

## Environment 環境



### ■ LED照明への切り替え

当期実施拠点  
 エスラインギフ：東京支店、京浜支店、富士支店、福岡支店  
 （4支店使用量前期比▲22.9%）  
 エスラインヒダ：本社棟、高山支店  
 エスライン郡上：本社棟



支店のLED照明

### ■ ペーパーレス化の推進

EDI化推進による省資源化  
 現在導入取引会社：551社（前期比+43社）  
 請求書の電子化への準備  
 2022年12月より順次開始  
 給与明細の電子化



従来の伝票



EDI用の伝票

### ■ 海老名支店（仮称）に資源循環システムを導入

ソーラーパネルと蓄電池システムの導入  
 雨水活用システムの導入



ソーラーパネルの導入



雨水を利用したトイレ（※イメージ）

## Social 社会



### ■ キャリアパス制度の導入

- ・明確で公平な人事制度の確立
- ・階層別社員研修の実施
- ・昇格に伴う資格取得の支援

### ■ 女性ドライバーの活躍推進

女性ドライバー人数：49名（当期採用人数：4名）



女性ドライバーの活躍

職場環境の整備

- ・ドライバー制服のモデルチェンジ
- ・海老名支店（仮称）にも女性専用のシャワー室を設置予定

### ■ 地域社会への貢献

街頭での安全指導の実施  
 地域清掃活動の実施



街頭での安全指導



地域清掃活動

## Governance ガバナンス

- グループトップ会議の開催  
→ 四半期に1回、全事業会社の経営執行責任者を召集し、トップ会議を開催
- CGコードの実践  
→ 取締役会の実効性評価の開示（6月29日）  
→ コーポレート・ガバナンスに関する実施事項の開示（7月1日）



Eslineホームページ株主・投資家情報：<http://sline.co.jp/ir/index.html>

# 2023年3月期下期の取り組みと見通し

## ●エスラインギフ 海老名支店（仮称）の新設

建設地：神奈川県海老名市  
 延床面積：6,103㎡（2階建）  
 稼働時期：2023年3月  
 予想営業収益：8億円

※2024年3月期より計上



## ●收受運賃の是正

→ **サーチャージ收受料金 前期比50%増を目指す。**

→ **運賃単価の値上げ交渉。**

## ●ドライバーの採用強化

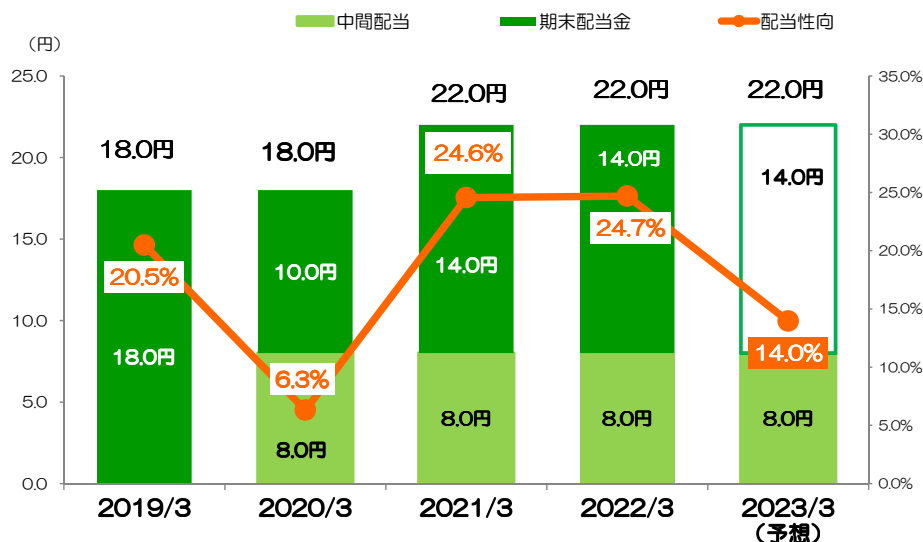
→ **外部委託費の削減を進める。**

## ●水道光熱費のコストアップ



## 利益配当

安定的な配当の継続と業績に応じた適切な利益配分を行うよう努めると同時に、事業の効率化及びグループの成長に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。



## 株主優待

決算期末の3月31日現在に単元（100株）以上保有されている株主様を対象に株主優待としてクオカードを進呈しております。

株数	保有年数	クオカード
100株以上	3年未満	1,000円分
	3年以上	2,000円分



本日はご清聴ありがとうございました。



【お問い合わせ先】 株式会社エスライン 経営企画部  
 TEL:058-246-6749 FAX:058-240-4850  
 E-mail: keieikikaku@sline.co.jp

### 【免責事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。  
 また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
 また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

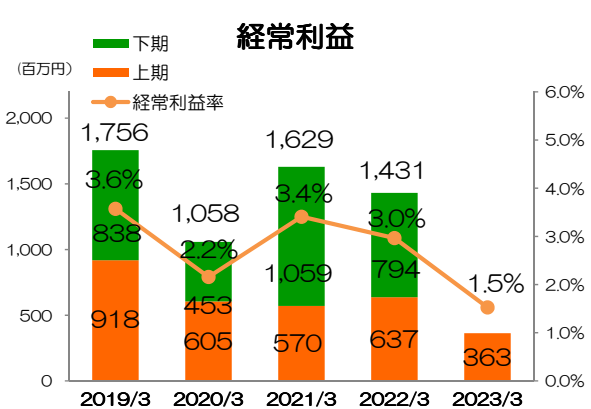
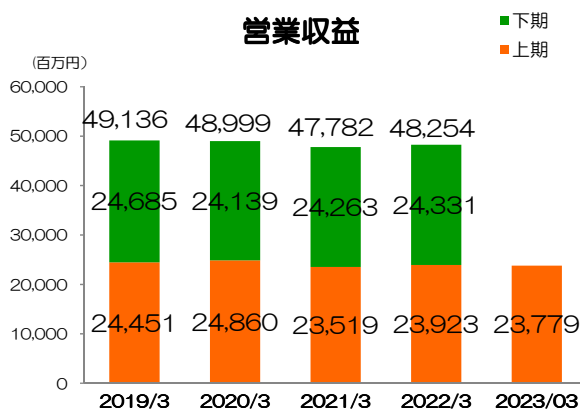


# 参考データ集

## 連結業績推移

(百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業収益	24,451	49,136	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	48,254	<b>23,779</b>	—
営業総利益	1,765	3,439	1,416	2,700	1,307	3,145	1,445	3,059	<b>1,273</b>	—
(営業総利益率)	(7.2%)	(7.0%)	(5.7%)	(5.5%)	(5.6%)	(6.6%)	(6.0%)	(6.3%)	<b>(5.4%)</b>	—
販管費	875	1,752	855	1,726	809	1,641	879	1,744	<b>979</b>	—
営業利益	890	1,687	561	974	497	1,503	565	1,314	<b>293</b>	—
(営業利益率)	(3.6%)	(3.4%)	(2.3%)	(2.0%)	(2.1%)	(3.1%)	(2.4%)	(2.7%)	<b>(1.2%)</b>	—
経常利益	918	1,756	605	1,058	570	1,629	637	1,431	<b>363</b>	—
(経常利益率)	(3.8%)	(3.6%)	(2.4%)	(2.2%)	(2.4%)	(3.4%)	(2.7%)	(3.0%)	<b>(1.5%)</b>	—
当期純利益	570	969	311	3,118	384	971	436	966	<b>231</b>	—

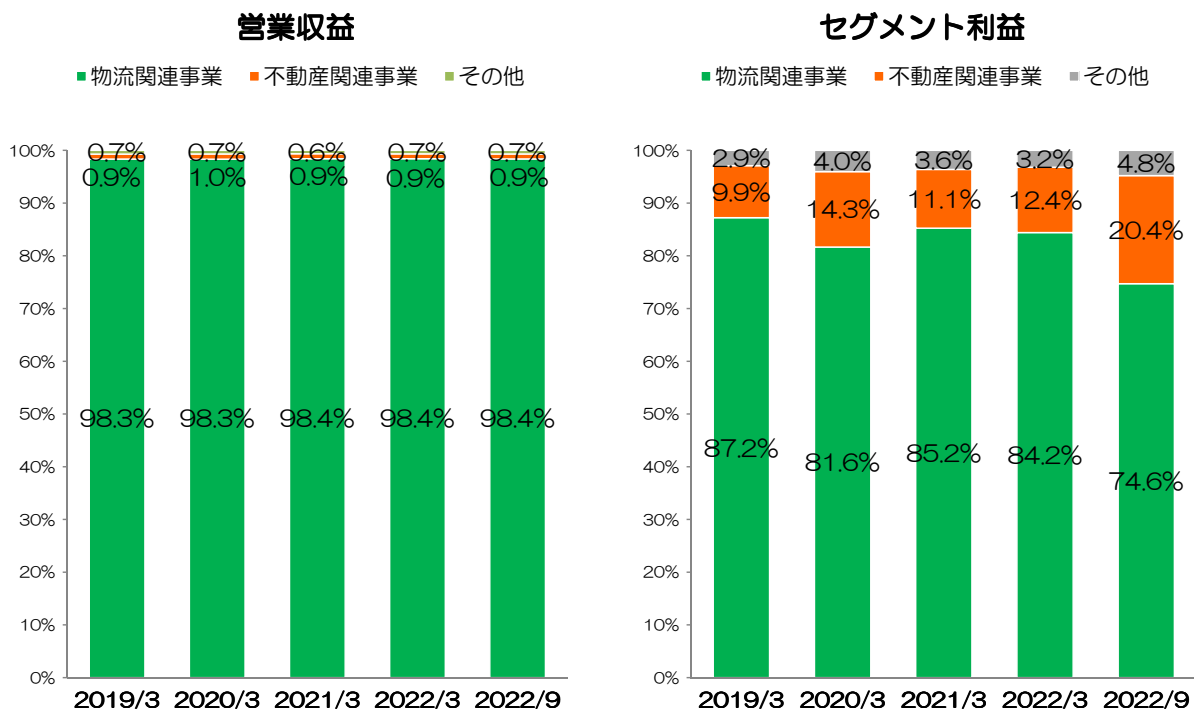


# 連結業績推移（セグメント別）

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業収益	24,451	49,136	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	48,254	23,779	—
物流関連事業	24,033	48,321	24,433	48,178	23,138	47,024	23,538	47,489	23,391	—
貨物自動車 運送事業	19,176	39,121	19,077	38,539	17,954	37,272	18,522	37,787	18,447	—
輸送サービス	19,176	39,121	19,077	38,539	17,954	37,272	18,522	37,787	18,447	—
ホームサービス	2,853	4,980	3,095	5,215	3,105	5,340	2,730	5,180	2,693	—
倉庫業	1,913	4,038	2,173	4,251	1,994	4,245	2,202	4,368	2,182	—
物流サービス	1,913	4,038	2,173	4,251	1,994	4,245	2,202	4,368	2,182	—
その他サービス	92	181	88	173	84	168	84	154	69	—
不動産関連事業	232	467	252	487	225	449	224	449	224	—
その他事業	184	348	175	334	156	308	161	317	163	—

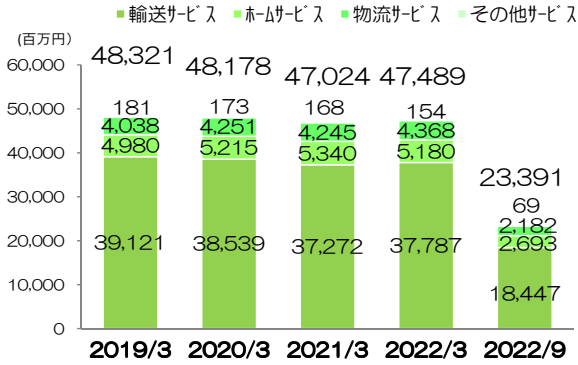
	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業利益	890	1,687	561	974	497	1,503	565	1,314	293	—
セグメント利益	1,220	2,342	877	1,632	789	2,101	874	1,945	626	—
物流関連事業	1,066	2,042	708	1,332	627	1,790	715	1,641	467	—
貨物自動車 運送事業	780	1,575	329	759	169	1,097	422	1,117	342	—
輸送サービス	780	1,575	329	759	169	1,097	422	1,117	342	—
ホームサービス	189	256	254	339	288	363	178	324	49	—
倉庫業	81	188	117	205	163	316	107	189	70	—
物流サービス	81	188	117	205	163	316	107	189	70	—
その他サービス	16	24	8	29	7	13	8	11	6	—
不動産関連事業	114	231	129	233	115	234	120	241	128	—
その他事業	40	68	39	66	46	76	39	62	30	—
調整額（本経費）	▲330	▲655	▲316	▲658	▲291	▲597	▲309	▲630	▲332	—

# 連結業績推移（セグメント別比率）

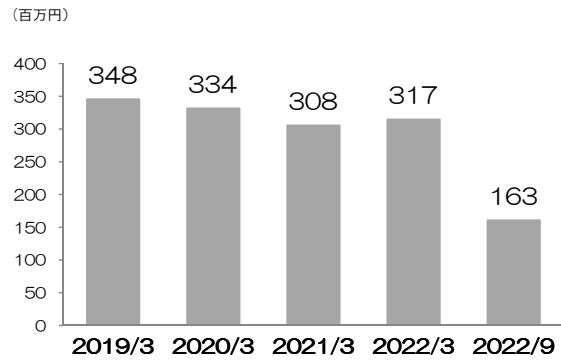


# 各セグメント状況（営業収益）

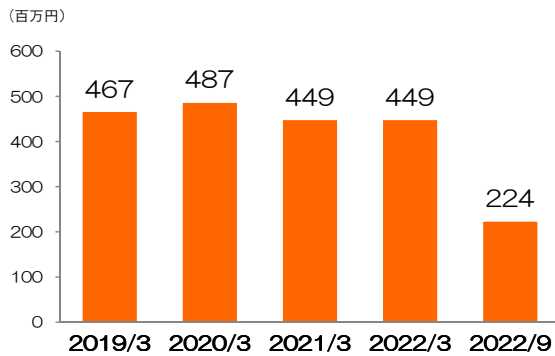
## 物流関連事業



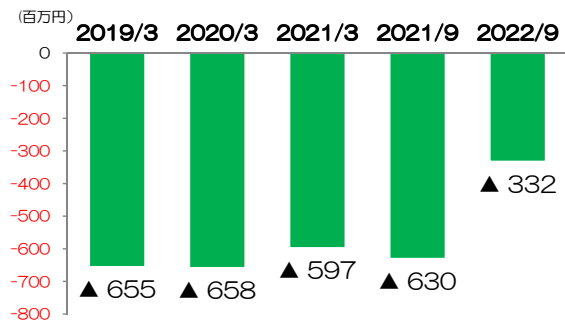
## その他事業



## 不動産関連事業



## 調整額（本社経費）



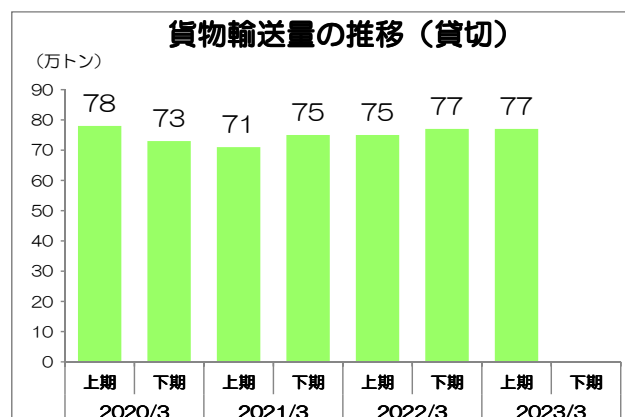
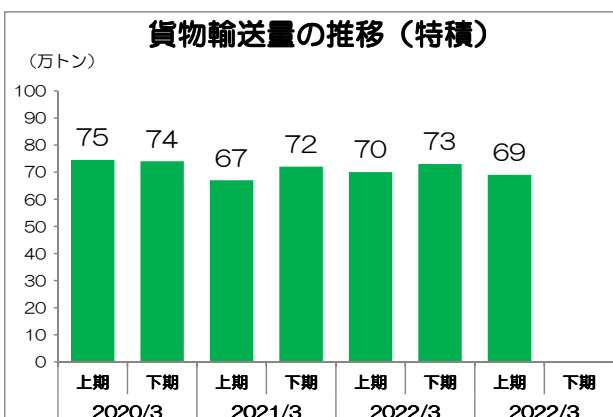
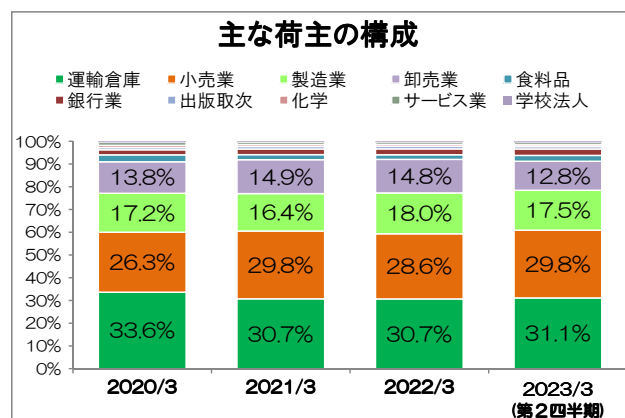
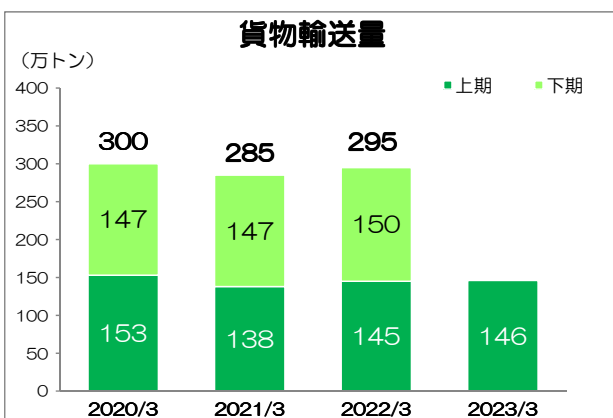
# 連結財務推移

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
流動資産	13,008	11,464	10,707	13,674	11,556	10,580	9,099	10,554	9,677	—
固定資産	24,071	25,214	25,466	26,922	28,511	30,227	30,038	31,088	31,092	—
資産の部合計	37,080	36,678	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	41,643	40,769	—
流動負債	8,756	8,409	8,282	8,937	8,910	9,559	7,503	8,466	7,994	—
固定負債	7,682	7,160	6,881	7,838	6,921	6,327	6,496	7,516	7,151	—
負債の部合計	16,439	15,570	15,163	16,776	15,832	15,886	14,000	15,982	15,146	—
株主資本	20,455	20,853	20,799	23,519	23,794	24,292	24,522	24,964	25,042	—
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
純資産の部合計	20,641	21,108	21,010	23,821	24,236	24,922	25,137	25,660	25,623	—
負債及び純資産合計	37,080	36,678	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	41,643	40,769	—
自己資本比率	55.7%	57.5%	58.1%	58.7%	60.5%	61.1%	64.2%	61.6%	62.8%	—
従業員数	2,084		2,107		2,145		2,131		2,136	

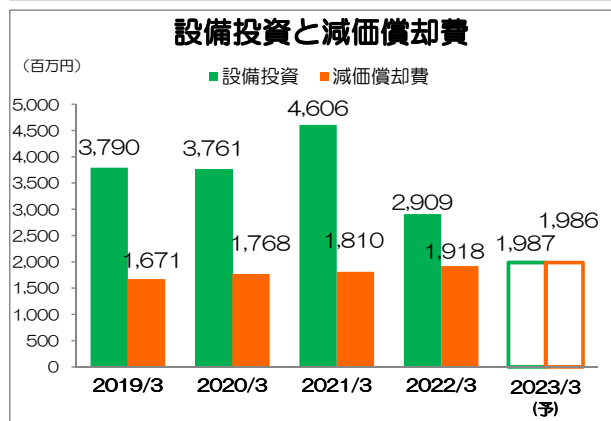
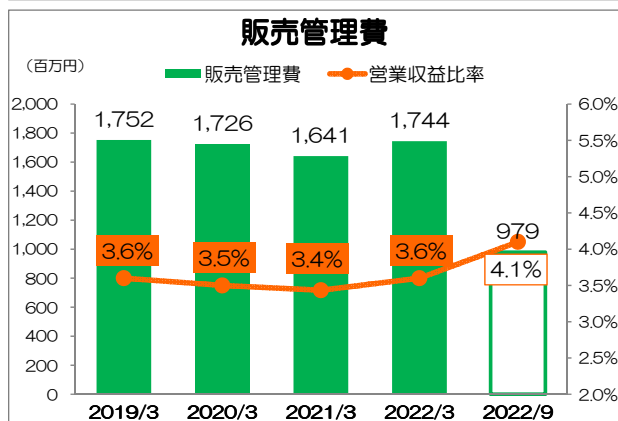
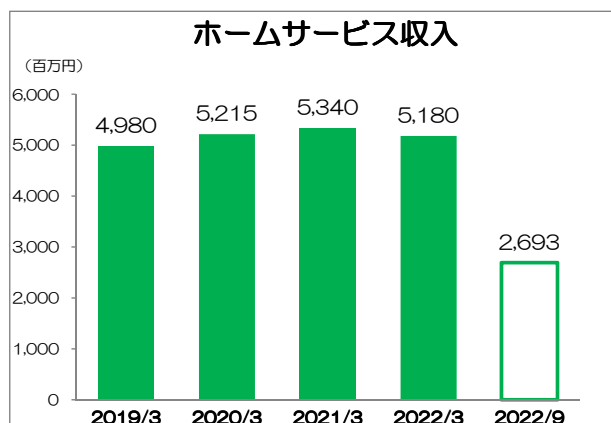
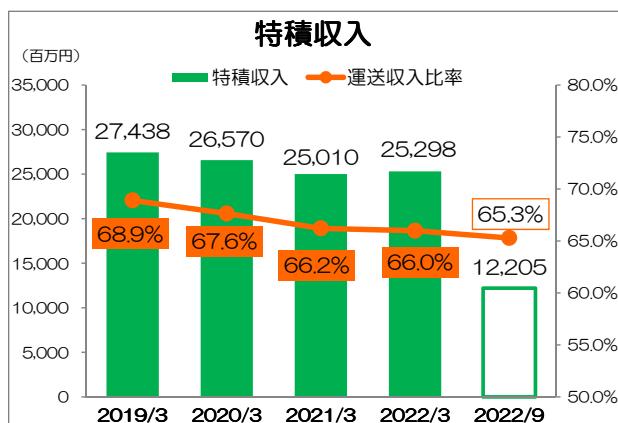
	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期(予)
1株当たり配当金	—	18.0	8.0	18.0	8.0	22.0	8.0	22.0	8.0	22.0
年間配当性向	20.5		6.3		24.6		24.7		14.0	

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業活動によるCF	1,286	2,600	1,144	2,283	1,182	2,722	1,307	2,729	962	—
投資活動によるCF	▲1,350	▲3,566	▲1,125	791	▲1,955	▲4,161	▲1,557	▲3,628	▲786	—
財務活動によるCF	2,197	1,388	▲582	▲541	▲859	▲1,590	▲611	788	▲728	—
現金同等物増減	2,133	422	▲563	2,532	▲1,631	▲3,030	▲861	▲110	▲552	—
現金同等物 期首残高	4,009	4,009	4,432	4,432	6,965	6,965	3,934	3,934	3,824	—
現金同等物 残高	6,142	4,432	3,868	6,965	5,333	3,934	3,073	3,824	3,271	—
設備投資費	1,751	3,790	1,296	3,761	2,172	4,606	722	2,909	751	—
減価償却費	814	1,671	881	1,768	890	1,810	951	1,918	990	—

## その他参考データ①



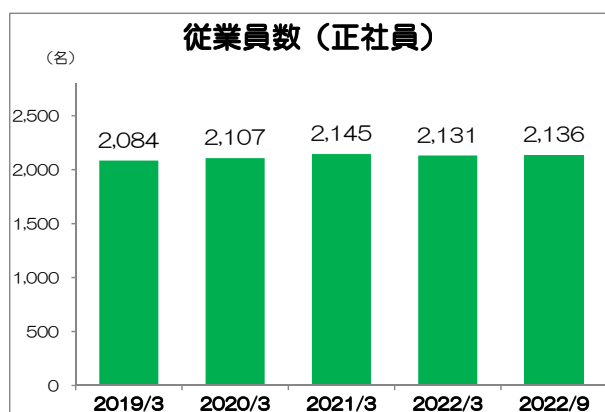
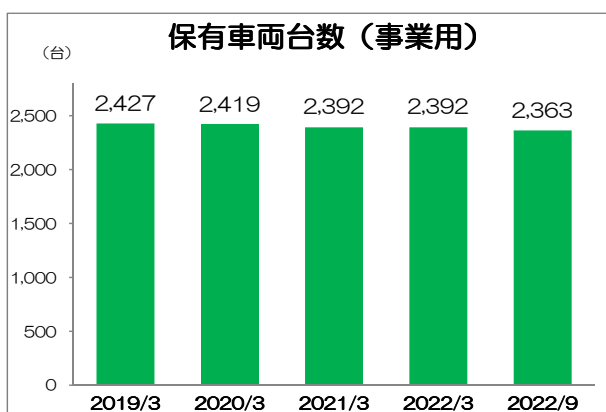
## その他参考データ②



Copyright 2022 株式会社エスライン

36

## その他参考データ③



Copyright 2022 株式会社エスライン

37



社員の  
健康管理



きれいな  
水作り



クリーンな  
エネルギーの普及



情報技術による  
安全確保



不平等の  
是正



地域貢献



環境／気候  
変動対策

## ■環境に配慮したシステムの導入



納車式の様子

- LED照明への切り替え
- ソーラーパネル、蓄電池システムの導入
- 雨水活用システムの導入
- CO2を排出しないEVトラックの導入

## ■働きやすい職場づくり



小牧物流センター内に保育所を設置

- 労務管理の見直し
- 時間外労働の削減
- ドライバーの健康管理
- 免許取得支援制度の拡大
- 女性が働きやすい職場づくり
- 物流センター内に保育所を設置



エスラインギフ飲料保管用自動倉庫



## ■「省人化」「安全」「効率化」を実現

### エスラインギフ飲料保管用自動倉庫（岐阜県羽島郡岐南町）

- 「自動ラックシステム」を導入し、約10,000パレット分の飲料が収容可能
- 保管商品の入出庫に最新の自動化設備を利用することで、「迅速」「安全」な作業を実現
- 「自動ラックシステム」では高さの制限を受けずに空間活用でき、この倉庫では9段積みと通常の倍以上の高密度保管による「効率化」を実現



無人台車によるパレットの搬送

## ■「集荷レス」を実現する物流センターの構築

### スリーエス物流第3物流センター（愛知県一宮市）

### エスライングループ小牧物流センター（愛知県丹羽郡大口町）

- DCセンター機能を有し、入庫～保管～加工～出庫～配送と一貫物流サービスの提供により、都度の集荷作業が必要なくなり、お客様の負担軽減、ドライバー不足への対応に効果
- 小牧物流センターには自動ソーターを導入
- いずれも「省人化」「効率化」を実現できるセンターとして業容拡大に取り組む



スリーエス物流第3物流センター



自動ソーター  
（1時間に約10,000個の  
仕分けが可能）